

形式：対面セミナー（配信あり）

補足： オンライン配信を実施します。会場での受講が難しい場合はオンラインでご受講ください
(録画配信となります。配信開始は開催後 3 営業日以内。配信期間は 10 日間程度)

ジャンル：食品

講習会コード： t d s 2 0 2 4 1 0 1 1 s 1

食のグローバル化が進む今、欠かせない知識——刻々と変化する諸外国の食品添加物・食物アレルギーに関する最新のレギュレーション、海外情報の収集方法、輸出入におけるトラブル事例・回収(リコール)事例について分かりやすくご紹介します。

世界各国の食品添加物と食物アレルギーの法規制

～最新情報・収集方法、添加物/アレルギー表示の国別比較、輸出入とトラブル事例～

講師： シッフズジャパン 代表 鈴木 幸雄 氏

1973年名古屋市立大学薬学部薬学研究科修士課程終了、1977年京都大学医学研究科・医学博士号取得。1977年より11年間、大学で医学の基礎研究に携わった後、1988年より12年間、製薬会社にて新薬開発、薬事申請業務を担う。2000年に三栄源エフ・エフ・アイ(株)取締役就任(新規食品添加物申請業務)、2002年ILSI Japan 食品アレルギー研究部会長(アレルギー表示)、2010年-21年 内閣府食品安全委員会・食品安全モニター。2009年より現職。世界の食品/添加物/アレルギーの法規制に関するコンサルティングや講演、飲料・素材メーカーとの共同研究、食品添加物及び飼料添加物に関する行政への要請業務、論文発表など、食品と医薬品領域の豊富な経験と人脈を土台に活動を行う。

- 日程 2024年10月11日(金) 10:30～16:30 (お昼休憩 1Hを含む)
- 会場 東京 ※都内中心部で調整中。詳細は Web ページをご覧ください
- 受講料 36,300 円 (税込/テキスト付) ※8/11 (日) までにお申込の場合、**29,040 円 (2割引)**となります

0. 最近の話題

- a. 紅麹事件
- b. PFAS 問題

1. 食品添加物の法規制

a. 基本情報

- ① 最新海外情報の収集方法
- ② コーデックス食品分類と認可食品添加物リスト

b. 最新情報

- ① コーデックス食品添加物部会(加工助剤)
- ② FSANZ---ココナッツミルクの食品分類を変更
- ③ アセアンの動き
 - ・統合とその後(TPP-11, RCEP)
 - ・経済と厚生指標
 - ・食用色素の認可比較
- ④ 中国: 食品安全法実施条例
- ⑤ 米国: 病原菌低減処理とバクテリオファージ、大豆レグヘモグロビン
- ⑥ EU: 統合と英国離脱、日英・日 EU EPA、

c. 食品・食品添加物の規格基準

- ① 国際標準: コーデックス
- ② 欧米: EU、英国、米国
- ③ 北東アジア: 日本、中国、韓国、台湾
- ④ 東南アジア: マレーシア(ハラールの現状等)、シンガポール、フィリピン、タイ、インドネシア(納豆テンペ等)、ベトナム(機能性表示食品、即席麺)
- ⑤ インド
- ⑥ アラブ首長国連邦
- ⑦ ロシア連邦
- ⑧ ブラジル(メスコスール)
- ⑨ 南アフリカ

d. 具体的な事例紹介

- ① ケーススタディ: 各国間の食品添加物比較(コーデックス食品分類、農水省 HP)
 - ・即席めん
 - ・炭酸飲料
 - ・調理冷凍食品
- ② 食品輸出入における食品添加物のトラブル事例
 - ・マレイン酸含有澱粉
 - ・違法着色料含有黒胡椒豆腐
 - ・安息香酸エステル含有即席麺
 - ・台湾冷凍麺の二酸化塩素

2. 食物アレルギーの法規制

a. 基本情報: トレランスとクローン選択

b. 最新情報: コーデックス(CCFL) アレルゲン表示作業の動向

c. 食物アレルギーのリスク評価

- ① 日本(判断樹と検知法、症状誘発確率)
- ② 米国
- ③ EU(表示免除)
- ④ WHO(規制量の推奨)

d. 食物アレルギー表示品目の比較

- ① コーデックス、EU、スイス、豪/NZ、米国、カナダ
- ② 日本、韓国、中国、香港、台湾
- ③ シンガポール
- ④ アラブ首長国連邦

e. アレルゲン食品の回収(リコール)事例

- ① FDA(米国)
- ② FSA(英国)

講演概要:

本講演ではまず【最近の話題】として紅麹事件とPFAS問題を紹介します。続いて【食品添加物の法規制】として、最新の海外情報の収集法、アセアン・欧米の動向を説明する。次に、欧米、北東アジア、東南アジア、更にはインド、ブラジルの食品法規制の枠組みをコーデックスの個別食品規格の様式に従って説明する。具体事例として、即席めん、炭酸飲料、調理冷凍食品を取り上げる。また、輸出入における食品添加物のトラブル事例も紹介する。【食物アレルギーの法規制】では、日本、米国、EUの食物アレルギーのリスク評価を説明し、食物アレルギー表示品目の国別比較から、法規制の相違について確認する。最後に、近年の英国と米国のアレルゲン食品の回収(リコール)事例を紹介する。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2024/10/11 世界各国の食品添加物と食物アレルギーの法規制	<input type="checkbox"/> 対面受講 <input type="checkbox"/> オンライン受講	
会社名※			
所在地※ (請求書等の送付先)	〒		
参加者①	氏名※	TEL※	
	所属※	FAX	
		役職	
	Email※	@	
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)		
参加者②	氏名※	TEL※	
	所属※	FAX	
		役職	
	Email※	@	
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		